



桐生ロータリークラブ週報

2006年

国際ロータリー第2840地区 2006-2007年度 国際ロータリーのテーマ



LEAD THE WAY

R.I 会長 ウィリアム B. ボイド

善意というものがいいなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー 前 原 勝 樹

会長 金子 篤郎 幹事 堀 明

クラブ会報・広報委員会 村田 勝俊・岸 省吾・蓮 直孝・吉田 和夫

8月7日号

第2576回例会

(7月24日(月) 第3例会)

○歓迎○

国際ロータリー第2840地区 津久井 義孝ガバナー公式訪問

- | | |
|---------------|--|
| 1. 点鐘 | 6. 委員会報告 |
| 2. ロータリーソング齊唱 | 7. 卓話 「ガバナー講話」
RI第2840地区 ガバナー 津久井 義孝様 |
| 3. 来訪者紹介 | 8. 点鐘 |
| 4. 会長の時間 | |
| 5. 幹事報告 | |

ようこそビジター

- | | |
|-----------------------------------|------------------------------|
| 〈RI第2840地区ガバナー〉 津久井 義孝様 | 〈桐生第一高等学校 I A C 顧問〉 西尾 仁美先生 |
| 〈RI第2840地区群馬第2分区(A)ガバナー補佐〉 大友 昭久様 | 〈桐生第一高等学校 I A C 部長〉 三田村亜紀美さん |
| 〈桐生R A C 会長〉 児玉 健一君 | 〈桐生第一高等学校 I A C 副部長〉 本保 孝太郎君 |
| | 〈米山 奨学生〉 サントス・アリオ・ウィボラ君 |

会長の時間

- ① 7月10日(月)市民文化会館に於いて実施された第56回桐生市社会を明るくする運動市民大会に参加致しました。
- ② 7月19日(木)桐生ロータリークラブ家族会総会が4丁目創作料理の店ジパングにて開催され、32名のご参加をいただきなごやかな内に引継ぎが出来ました。
- ③ 7月21日(金)桐生俱楽部1号室にてR A Cの初例会があり、新世代奉仕委員長 園田誠君、R A C

担当副委員長 阿部高久君、地区ライラ委員 蓮直孝君、幹事の堀明君共々出席してきました。

- ④ 7月9日(日) RI2840地区インターラクト合同会議が安中文化センターで開催され、新世代奉仕委員会園田委員長が出席してきました。
- ⑤ 7月23日(日) RI2840地区の新世代奉仕委員会、ロータリアクトクラブ合同会議が前橋の群馬県庁昭和庁舎にて開催され、桐生 R A C 児玉会長、園田委員長共々出席してきました。
- ⑥ 7月29日(土) RI2840地区インターラクト年次大会

例会場 桐生俱楽部 TEL45-1513 例会日 毎月曜日 12:30PM
ホームページ <http://www.Kiryu.co.jp/Kiryurc/> メール kiryu-rc@ktv.ne.jp

ロータリー第2840地区 2006~2007年度

歓迎 津久井義孝 ガバナー



編集後記

今年度ガバナー公式訪問を復活された津久井ガバナーの英知と英断に感謝したいと思います。昨年は当第2840地区のみならず公式訪問を省略した地区があったようです。その一方で、当時調べたところによれば、ロータリーのメッカであるシカゴ地区ではガバナーの公式訪問スケジュールがびっしりカレンダーに表示されておりましたので、訪問する地区としない地区に分かれていたようです。

ガバナーを通して世界のロータリーに触れ、ロータリーの理解を深めるとともに、ガバナー個人の個性と魅力に接し、自クラブと会員自身とを振り返り、クラブの改善につなげていくというのがガバナー公式訪問の価値ではないでしょうか。

私は今回津久井ガバナーに質問をさせていただきましたが、私の質問のレベルをはるかに超える回答がガバナーから返ってきたことに感動し、たいへんうれしい気持ちになりました。公式訪問がなければこうした経験はできなかったことでしょう。ロータリーはグラスルーツが“命”と考えますが、グラスルーツ、草の根である各クラブに栄養を与える役割がガバナーに求められているのです。そしてガバナーとクラブが会員レベルで対話することでその栄養価がさらに高められるものと考えます。ガバナー公式訪問はガバナーご自身にとって大変な負担だと思いますが、ぜひ今後も絶やすことなく続けていただきたいと願うものです。（村田記）

ナーをされたときに、私は今で言うガバナー補佐を勤めました。したがいましてロータリーのことは私に聞くよりも、吉野パストガバナーに聞いていただいたほうがよろしかろうと存じます。吉野パストガバナーの薰陶を受けた一人として敬意を表したいと思います。

話のスタートとして、私の所属する会社、宮津製作所について説明します。宮津製作所は世界中の車のボディの金型を作っております。金型は一見値段が高そうに見えますが、量産するためのものですからボディを作れば作るほど安くなるものです。モデルチェンジ時に仕事が発生するという特徴があります。モデルチェンジは何年かに一度しかありませんので、たえず仕事の繁閑の大波に対処しなければなりません。国内には15～6社の取引先しかなく、国内取引先への売上は全体の30%にとどまっており、広く世界に取引先を求めざるを得ません。このため一国を代表する自動車メーカーを相手に海外活動を40年やってきました。ロールスロイス社もそのひとつで、20年ぶりのモデルチェンジに参画し、『宮津製作所の金型は非常によくできた、日本人はまじめに仕事をしてくれた』と大変高い評価をいただきました。日本全体への信用にもつながったと喜んでいます。今日桐生俱楽部へ乗ってきた車は、同社から記念にいただいたロールスロイスです。完成したら車をあげるよというのでもらいましたが、高級車ですから、細かい修理でも部品が量産品でないため高くつきます。ただより高いものはないということでしょうか…。

さて、国際ロータリー主催の国際協議会は2月に次期ガバナーの教育のため開催され、全世界から530名が参加しました。米国のサンディエゴのホテルでは文字通りの缶詰教育で11日間のうち休みはたった半日でした。一方、楽しいのは大食堂。自由に席をとって食べていいので世界各国のいろいろな人と隣りあわせて名刺交換や記念品交換をして和気藹々と楽しみました。研修は日本人の講師から日本語による討論会形式で行われました。

ところで、私はロータリーのファンはもっと広がると考えています。そのためには実行面を研究する必要があります。会員自身が、ロータリーに入らなければ損と言えれば会員は増えるのです。自分のクラブに惚れ込む、もっと自信を持つ、そこそこ不満があってもクラブをほめることが大切ではないでしょうか。

今年のテーマ、『Lead Thee Way』は簡単な言葉ですが、難しいですね。相手に感動を与える率先した仕事がなされれば感謝に恵まれると私はこの言葉をそう理解しています。

ロータリーには地域の異業種の方が多数集まっています。そこでは互いの人格を尊敬しあっています。会員でない人には分かりかねる信頼感、親睦感があります。ロータリーの究極の目標は親睦と世界への

つながりであると考えますが、さてガバナーとして何をするかについてどちらから何の指示もありません。自ら考えないとだめということですが、これが不思議です。考えてみれば、クラブの活動も委員長の熱意と善意で出来上がっていますね。ロータリーは本当に不思議な存在です。例会や委員会に出るとロータリーについていろいろと教えてもらえます。ロータリーのことが分かるようになると奉仕をしないといけないと思うようになります。とはいえて出席に要する時間は結構かかりますので、簡素化できるものは簡素化してもよいでしょう。

また、米山奨学カウンセラーのような機会は是非生かしてほしいです。自分の子供が一人増えたようなわが子のごとく遇する体験ができます。

自分の商売を繁盛させるにはどうしたらよいでしょうか。私は、ロータリーの人の知識や知恵を役立ててほしいと思います。会費や奉仕に耐えていかねばなりませんが、その一方で、会を利用してロータリーの世界を生かしていくのが重要です。ロータリーバッジをつけているとどんなときでも話ができ相談できるのです。今年のテーマのひとつに『ロータリーファミリー』がありますが、クラブを活用することがロータリーの価値を高めることになります。

ロータリーにも欠点は様々ありますが、そうした点は追々矯正していくべきなのです。会費が高いのも事実ですが、高い会費を払える人が入るとも言えます。ロータリーは気楽に付き合える団体であり、賞もたいしてなければ、罰もありません。皆さんがロータリアンとして活躍することを祈念します。

点鐘後、津久井ガバナーとの意見交換会が行われました。

まず、館前会長から2年ぶりに再開されたガバナー公式訪問に対して、ガバナー訪問の重要性についての考え方方が述べられ、感謝の意が表されました。津久井ガバナーからは各クラブのご意見を拝聴するためにうかがつたのであります。感謝されて大変恐縮しているとのことありました。

続いて、下山嘉一郎会員（米山委員会委員長）から米山奨学委員会について、米山奨学生を受け入れてはいるが委員会としての存在感が薄いのでこれを強化したい、また、財政的な基盤を高めるよう努力したいとの意見が述べられました。前原勝良会員（会員増強委員長）からは新規の業種を開拓することでの会員増強策を図ることや質の高い会員発掘をしたい等のアイデアが披露されました。最後に村田勝俊会員（会報・広報委員長）からは会報をクラブ会員間の理解を深めるように活用することの意義について意見が出されました。これに対し、津久井ガバナーから大変示唆に富むアドバイスをいただきました。今後のクラブ活性化のために役立てることが望されます。

が安中の新島学園にて開催予定、園田委員長、IACの生徒共々出席予定です。

幹事報告

- 国際ロータリーよりロータリーワールドが届いております。
- 前橋RCより「クラブ改革提言Ⅲ」が届いております。
- 桐生赤城RCよりクールビズ例会のご案内です。8月～9月例会はノーネクタイ(襟付き)にて例会を行うとのこと、マイクされる方もクールビズでお越し下さいとのことです。
- 桐生南RC、桐生西RCより現況報告書ならびに週報到着。
- 桐生中央、桐生赤城、前橋、館林の各RCより週報到着。
- 今週木曜日27日は桐生5RCガバナー歓迎合同例会がプリオパレスにて開催されます。出席予定の皆様におかれましては、午後6時30分点鐘ですので、お間違えのないようご集合下さい。尚、プリオパレス駐車場の都合上、乗り合わせや送迎のご協力をお願い申し上げます。プリオパレスからは帰りのバスのみ、仲町方面へ出るそうです。又、次週31日(用)の例会は27日へ振替のため休会といたします。
- 本日例会終了後はこのまま広間にて30分間、全員出席のもとガバナーとの意見交換会がございますので、点鐘後も退室せずに待ち下さい。その後、玄関前にて集合写真を撮影いたします。お時間長くなりますが宜しくお願ひ致します。

桐生ローターアクトクラブ児玉会長による現状報告

- ・メンバー数：6名うち留学生3名
- ・当期の目標：『抜けよう活動と仲間』
- ・現在は定期例会の開催とインタークトと共にボランティア活動の実施
- ・来年はライラの大会があり、それに向けた準備
- ・悩みは会員が少ないことであり、ロータリアンの紹介をお願いします。

桐生第一高校インタークトクラブ西尾先生による活動報告

- ・火曜日・木曜日が定期活動日であり、校内清掃や手話ソングの練習に励んでいます。
- ・現在メンバーは31名。学年の壁を取っ払うよう努力している。
- ・活動のメインであるボランティアは東小のドンドンクラブで障害児とともに太鼓を習っている。また、朝日養護のOB・OGの車椅子バレーボール(ペガサス)の補助や新里や梅田のきらきら星での障害児学童保育のボランティアをするなど活動の内容の幅が広がった。

・分野が福祉系が多くなっています。普段、地域として活動すること(普通でやることが当たり前なんだ)、すなわちノーマライゼーションが大切であることを理解して、台湾研修参加を含めグローバルな視点ももっと感性を磨いてほしい。

委員会報告

出席委員会

本日の出席(平成18年7月24日)：総員67名・出席53名
平成18年7月3日例会修正出席率：84.9%

ニコニコボックス

津久井ガバナー様よりニコニコ箱へお祝を戴きました／大友ガバナー補佐様よりニコニコ箱へお祝を戴きました／金子篤郎君・堀 明君…津久井ガバナーと大友ガバナー補佐をお迎えして／吉野一郎君…津久井ガバナーを歓迎して／藤江聰吉君・森喜美男君・蓮 直孝君・藤江 篤君・村田勝俊君…津久井ガバナーをお迎えして／吉野雅比古君…津久井義孝ガバナーいらっしゃいます。7月14日(金)は太田で大変お世話になりました。本日は御指導宜しくお願ひ致します。／園田 誠君…ローターアクト、インタークトメンバをお迎えして／前原正一君…出席100%／前原 勝君・坪井良廣君・岡部信一郎君…写真をいただきました

ロータリー財団委員会

金子篤郎会員 \$100

米山奨学会員会

藤井征夫会員 30,000円

村田勝俊会員 10,000円

堀 明会員 10,000円

国際奉仕委員会

地区より交換留学生の募集が届いております。行先はアメリカ。期間は1年間。現地ではホストファミリーに滞在するなど異文化を学ぶまたとない機会であり、会員からの積極的な推薦をお願いします。

野球部

ロータリーの野球大会は9月10日に開会式を行い、当日10:00から当クラブは、伊勢崎クラブと対戦予定。積極的な参加と応援をお願いします。

卓話



「ガバナー講話」

RI第2840地区 ガバナー
津久井 義 孝 様

桐生ロータリークラブの吉野パストガバナーがガバ